

第 2 学 年 体 育 科 学 習 指 導 計 画

2年1組 指導者 大賀拓也

1 2 M (4 時間) が本時

学習活動	子どもの意識
第 1 次 キャッチテンカを知る	3 M (1 時間)
学習内容 ・進んで学習に取り組む態度 (態) ・捕球の仕方 (知) ・ゲームの行い方 (知)	
<input type="checkbox"/> キャッチテンカを知る (3 M)	<p>・いろいろなボールが用意してあるよ。早速投げてみよう。A君、ナイスキャッチ。次はぼくの番。あれ、捕れないよ。もっと近づこう。なんとか捕れたよ。ぼくと同じように、捕り方に難しさを感じている人が多いのか。ボールの捕り方って、いろいろあるのだね。胸キャッチはよくするけど、片手キャッチは難しそうだな。だから、初めに「キャッチタイム」をするのだね。中身はゴロキャッチ、バウンドキャッチ、箱キャッチ、片ピタキャッチか。おもしろそうだな。でも、バウンドは少し怖いな。1分間で回していくのだね。次は、キャッチテンカをやってみよう。ルールは分かったぞ。試しのゲームだ。1回目は、胸キャッチを確実にしよう。1点は確実にだ。次は、片手の平キャッチに挑戦だ。なかなか難しいな。4点はまだねえられないね。A君は、片手の平キャッチが上手だな。次の時間に聞いてみよう。よし、次の時間からのゲーム、がんばるぞ。</p>
第 2 次 キャッチテンカを楽しむ	9 M (3 時間)
学習内容 ・捕球のコツ (思) ・勝敗の受け入れ (態) ・いろいろな捕球の仕方 (知) ・よりよい捕球の仕方に挑む態度 (態) ・自分たちに合った規則の選択 (思)	
<input type="checkbox"/> 勝敗や捕球のコツを意識してゲームをする① (3 M)	<p>・まずは、キャッチタイムでボールに慣れるぞ。ゴロキャッチは姿勢を低くすれば捕れそう。少し、距離を伸ばそう。2回目だから、バウンドキャッチにも慣れたよ。箱キャッチで、なんとなく捕る感覚がつかめてきたな。片ピタキャッチは楽しいけど難しいな。ペアタイムでは、ゲームで試す捕り方を決めてから練習するのだね。両手の捕り方は簡単そう。片手の平キャッチをしたいな。全部片手の捕り方にしよう。A君も片手の捕り方が多いね。思った以上に難しいな。A君、どうすれば捕れるか教えてよ。ボールを最後まで見るのだね。ゲームで成功できるか不安だけど、やってみよう。よし、1回戦。やっぱり失敗だ。負けたよ。敗因はできない片手の捕り方を選びすぎたことかな。2回戦は両手の捕り方も入れよう。ボールも軽くしようかな。よし、両手胸キャッチは成功したぞ。やっぱり片手の平キャッチは失敗。また負けた、悔しいな。コツをつかんで、次は勝つぞ。</p>
<input type="checkbox"/> 勝敗や捕球のコツを意識してゲームをする② (3 M)	<p>・初めはキャッチタイムだ。バウンドキャッチはボールが落ちるところを捕るとよいのだね。もう一回やってみよう。次は、ペアタイムだ。今日は片手の平キャッチを練習しよう。手を引きながら捕るとよいのだね。捕れたよ。ゲームでも成功させるぞ。よし、1回戦開始。1回目は2点。2回目は3点。最後は片手の平キャッチだ。ぼくは5点。Bさんは全部成功して10点。4点差で負けたね。ぼくのキャッチ失敗が敗因だ。Bさんは片手の回数を増やすのか。次こそは、絶対成功させるからね。2回戦だ。Bさんは12点だ。やった、初めてゲームで片手の平キャッチが成功したぞ。初勝利だ。仲間のおかげで、できなかった捕り方ができるようになったよ。次はクロスキャッチに挑戦だ。</p>

<p>□自分たちに合った規則を選び、ゲームをする (3M)</p>	<p>・今日のキャッチタイムは、距離は短めで、バスケットボールで練習してみよう。ゴロやバウンドは捕れるけど、ノーバウンドは少し怖かったけど、C君が優しく投げしてくれるから、だんだんできるようになってきたぞ。次は、ペアタイムだ。C君は投げたり捕ったりが得意だから、クロスキャッチのコツを聞こう。なるほど。ボールや2人の距離が違って、前にBさんが言っていたように、引きながら捕っているのだね。ボールや2人の距離が変わっても、コツは同じなのか。もっと練習するぞ。やっぱり難しいな。挟むところまではできるけど、最後にどうしても落ちてしまうね。さあ、ゲームの時間だ。最後のゲームは負けてしまったよ。悔しいな。結局、クロスキャッチは失敗したけど、片手の平キャッチはできたよ。捕り方やボールを変えたら失敗も増えたけど、できないことに挑戦することはとても楽しかったよ。ようし、昼休みのドッジボールでも試してみよう。</p>
---------------------------------------	---

<キャッチテンカのルール>

- 1 味方同士、ペアで向かい合い、ボールを投げ、それをキャッチするゲーム。
- 2 1チーム7人なので、ペアを2つ、トリオを1つ作る。
- 3 ゲームを行うペアは、同チーム内で、毎試合違う人とペアになるようにする。
- 4 2人の距離は、基本4mとする。
- 5 投げ方は、両手下投げとする。
- 6 キャッチの仕方によって、得点が異なる。得点は、以下に示す。

- ①両手胸キャッチ・・・1点
 - ②両手の平キャッチ・・・2点
 - ③片手胸キャッチ・・・3点
 - ④片手の平キャッチ・・・4点
 - ⑤レシーブキャッチ・・・5点
 - ⑥クロスキャッチ・・・5点
- ※捕れなかったら、0点



- 7 それぞれ3回ずつ投げ、3回ずつキャッチし、その合計点で勝敗を競う。

	①	②	③	①	②	③	
例) チーム赤	1ペア	A君	2, 2, 3	=7点	Bさん	1, 2, 2	=5点 計12点 負
チーム青	1ペア	Z君	1, 3, 3	=7点	Yさん	2, 2, 2	=6点 計13点 勝

<選ぶ規則>

- ・ ボールの種類によって、得点が加算される。 例) バスケットボール +1点
- ・ ペアの距離によって、得点が加算される。 例) 5m以上 +1点

<キャッチタイム>

- ・ ゴロキャッチ、バウンドキャッチ、箱キャッチ、片ピタキャッチの4種類をサーキット形式で回す。(1種1分程度)
- ・ キャッチタイムを行うペアも、同チーム内で、毎時間違う人に変える。

<ペアタイム>

- ・ ゲームで試す捕球の仕方を決めたり、実際にゲームを行うペアで練習したりする時間。